

# 信州

# いんやま 寺巡り



ひとつ寺、ふたつ寺 巡るごと、昔に還って行く

「寺は三十六、鐘なら愛宕」と飯山の小唄にある。それほど寺が多い。北から西の丘の麓、愛宕町、神明町あたりには、緑の樹木に囲まれた寺の屋根が見え隠れし、仏壇づくりの店が軒をつらねる。寺巡りの旅は、歴史への旅。一つ寺、二つ寺。その風情、まさに京の錯覚。

ノスタルジックな風景 静かに歴史の眠る町飯山

島崎藤村は、この飯山を「小京都」と呼んだ。その名を信濃川と変えようとする千曲川のほとり、奥信濃の静かな山里にたたずんでいる。鉄棒も曲げてしまふほど降る雪の冬が終わると、待ちに待った春。それは鮮やか。寺から寺へ。歴史とかくれんぼしながら歩くと、いつしか誰も、心が癒されてしまう町。

## 愛宕町 雁木通りは仏壇通り



とにかくスゴイ。愛宕通りを歩けば、どっちを見てもお寺と仏壇店。ほかに時絵師や金具師、宮殿師、彫刻師などが軒をならべている。

どことなく京都。飯山は寺の町。そして仏壇の町。三百年の歴史が今に伝わる町なのだ。

## 持って帰れる 自分で漉いた内山紙 飯山市伝統産業会館



長野県の伝統的工芸品、七品目(飯山市はその内二つ)すべて展示されているのは、県下でここだけ。

飯山市の伝統産業である飯山仏壇と内山紙については、製造行程が詳しくわかるような興味深い展示となっています。

希望者は内山紙の紙すきを「手すき和紙体験工房」にて体験できます。

## 信州いやま おもてなし郷土食



富倉で生まれた郷土食。天文二二(一五五三)年から十二年間に渡って争われた川中島の合戦では、富倉峠道は重要な軍用路となり、上杉謙信の軍勢が休息した時に振舞われたことから、別名「謙信ずし」とも言われる。具の材料は水にもどした干しぜんまい、いこみ、わらび、しいたけ、味噌漬大根、くるみが用いられる。



栄養豊かな海の幸。えご草は日本海側の一部沿岸のみに見られる海草で、天日干しされて峠道を通る越後の魚商人が運んできた。海のなない飯山で工夫がちな海産物を工夫して取り入れた逸品。ひたひたの水を加えて弱火で練りながら煮とかし、型に流し込み冷やして固める。



富倉の土目(土質)と氣候により腰の強い、風味のいい富倉そばとなる。昔からそばのつなぎにこぼろ(葉)を使ってきた。それを干してもんだり、たいたたり、煮たりしながら、白くやわらかい繊維を取り出す。それを何回も水洗いしてから乾燥させて使用する。そば粉一升に一握りほどのこぼろ葉を使う。



寺の町飯山の精進料理。じゃがいも本来の澱粉を水で替えながら晩水にさらして取り除き、シャキとした歯ざわりとなる。酢を入れるタイミングが重要。

## 七福神巡りコース



## 寺巡りコース



斑尾高原行き(布袋尊)バスのご案内 飯山駅 ←→ 斑尾高原ホテル 料金片道 500円

※平日ダイヤ、休日ダイヤがありますので、事前に確認してください。  
 ※JR飯山線飯山駅発着時刻によりバス発着時刻も変更されます。  
 (運行についてのお問い合わせ) 飯山市役所企画財政課 Tel.0269-62-3111

- お問い合わせ いいやま史跡振興連絡協議会 / 飯山商工会議所内
- (一社)信州いやま観光局
- 飯山市伝統産業会館
- 飯山駅観光案内処
- 寺巡りお休み処 奥信濃
- 飯山市大字飯山2239-1番地 Tel.0269-62-2162
- 飯山市大字飯山 飯山市役所内 Tel.0269-62-3133
- 飯山市上倉1436-1番地 Tel.0269-62-4019
- 飯山市飯山747番地8 Tel.0269-62-2829
- 飯山市愛宕町3222-1番地 Tel.0269-63-2950



寺の町「飯山」をスタンプハイクしましょう。市内の寺社に、旅の記念スタンプが置いてあります。お好きなところを選んで巡りましょう。和紙スタンプ表に10ヶ所以上のスタンプを押したら《伝統産業会館》《飯山駅観光案内処》《寺巡りお休み処 奥信濃》のいずれかまでお持ちください。旅の記念に“極楽浄土ゆきのきっぷ”を差し上げます。



千曲川のほとり、  
のんびり雪国の小京都を歩こう。

唱歌「臘月夜」の情景(飯山市 葉の花公園)



### 寺巡りシーズン

## 4月中旬～11月中旬

(冬期間寺巡り遊歩道は雪のため利用できません。)

- 1 正受庵～奈良沢蓮田
- 2 忠恩寺～寺巡りお休み処 奥信濃
- 3 常福寺～妙専寺(神明町)
- 4 英岩寺～飯笠山神社

### 1 飯山駅観光案内処

- 寺巡り・七福神商品販売
- 開館時間 9:00～17:00 (12月～2月 9:00～16:00)
- 休館日 12/30～1/3
- 電話 0269-62-2829

和紙スタンプ表は1817にて200円で販売しております。  
・1～24 全てでスタンプの押印ができます。  
・S印の場所にもスタンプがあります。

### 8 飯山市伝統産業会館

- お仏壇の展示、寺巡り・七福神商品販売
- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 毎週月曜日 ※月曜が祝祭日の場合は開館。館
- 電話 0269-62-4019

### 12 瑠璃光山東光寺 大輪院

奈良の長谷寺の末。関一政の創建慶長6年(1601)。歴代藩主の祈願所。かつてここにあった「あたごの鐘」は、時の鐘として、ながく飯山地に人々に親しまれた。

### 16 三枝山報恩院 光蓮寺

寺伝によると、武田信玄の弟・信繁の孫にあたる武田正善が、武田氏滅亡後、身を隠していたが、のち剃髪し一字を建立したとある。江戸時代に一世を風びした画僧であり、儒僧であり、詩僧であった武田雲室はこの寺の出身である。

### 20 日照山本光寺

岩井備中守信能が、飯山城を築いた時、居城山口城にあった七面大明神を飯山に遷座したのが始まり。四季折々の美しい花々の咲き乱れるこの寺に、野田喜佐衛門の墓がある。喜佐衛門は、松平遠江守忠俱により大阪から招かれ、数々の用水を開設、現在の飯山水田をつつた。

### 2 方面山 本学寺

南北朝時代。新田義貞の家臣桐山入道忠道により開基された。松代にあって久しく廃絶されていたのを、明治10年(1877)成田親成によって現在地に転移再興された。

### 5 鷲森山 西来寺

開祖は可真。正保2年(1645)の創建。もとは西敬寺の塔頭であったという。明治10年(1877)、現在地に独立。昭和3年本堂・庫裡を開放してめぐみ保育園を開設しました。現在は、保育園の2階に本堂の内陣・外陣があります。

### 9 小畝山 正受庵

名僧正受老人は名を慧端といい、松平藩主真田信之(幸村の兄)の子。故あって母は飯山城主松平家に預けられ、産声は飯山城内であげたという。その弟子には臨濟宗中興の祖といわれる白隠禅師がいる。禅堂の前に島木赤彦の歌碑がある。

### 13 松寿山 正覚院 忠恩寺

木立に包まれた本堂、破風の見事な庫裡。忠恩寺は、さすがに格式を今に伝えている。松平、本多両氏の菩提寺。閑静な境内に加え、歴代城主が眠っている墓所がある。宝物の黒本尊阿弥陀如来像は、徳川家より拝領したものです。

### 17 寺巡りお休み処 奥信濃

光蓮寺のすぐ北隣に、かつては天台宗の修験寺院であった徳法院がありました。無住となったため、取り壊され、今は寺巡りお休み処奥信濃(お土産品販売所)となっています。正面のご本尊の不動明王は、戸隠の無動寺からのもので、室町時代の作といわれています。島木赤彦の童謡碑があります。  
□ 寺巡り・七福神商品販売  
□ 開館時間 9:00～17:00  
□ 休館日 毎週火曜日・冬期間(12月～4月中旬)  
□ 電話 0269-63-2950

### 21 歡喜山横山院 妙専寺

愛宕町にある妙専寺(西本願寺派)を弟の了念が跡を継ぐことになり、兄の学永が独立して分院。東本願寺に属することになったのがこの寺。境内にはこの寺で病氣療養をした歌人土田耕平の歌碑がある。

### 3 成田山 善覚寺

初め長沼(現長野市大町)の西蔵寺掛所(休泊所)であったという。慶長14年(1609)の年賀の折、祝辞を申した釈空心が、城主に気に入られ建立した。正受老人と親交のあった中野不白居士の墓がある。

### 6 峰雲山 慈月院 蓮證寺

開祖は、近江源氏の佐々木佐衛門尉尚高。京都山科に自居。その後、信長との抗争によって、家臣16人とともに信州幸川に移ったという。寛文7年(1667)に松平忠俱が、今の奈良沢に移した。

### 10 月峰山 明昌寺

明照寺ともいう。大聖寺末寺。太田村北条より現在地に移った。現在の明昌寺は、東本願寺系の説教所(お田屋)を解体し、それを主体に本堂が再建されました。

### 14 牛首山 顕正院 称念寺

開山は親鸞の弟子の宗諦。現在の本堂は、正倉院校倉式を模した。明治の南画家長井雲坪のゆかりの寺です。荻原井泉水の句碑がある。境内の苔ともみじは目を楽ませてくれます。

### 18 流水山 常福寺

飯山藩主、佐久間備前守が、城下町経営のために市内小境から寺領を与えて移転したといわれる。飯山藩主の信仰の厚さがうかがえる。

### 22 韶陽山 大聖寺

飯山藩主堀、佐久間両氏の菩提寺。木曾義仲の臣、今井兼平の子孫の創立。多くの被害を与えた善光寺地震の供養地蔵や、明治初年、山岡鉄舟が正受庵再興のために訪れ滞在した時の、雄渾な筆跡が残っている。

### 4 安養山笠原院 真宗寺

「蓮華寺では下宿を兼ねた。瀬川丑松が…。寺は信州下水内飯山町二十何ヶ寺の一つ…。寺を訪ねると、文豪島崎藤村の「破戒」の第一章を刻んだ文学碑がある。蓮華寺は、この真宗寺がモデルです。藤村が、しばしば訪れた寺で名作「破戒」の文学碑があります。

### 7 倉科山片雄山報恩院 西敬寺

堂々たるカヤ葺き屋根の山門。親鸞聖人、蓮如上人の御旧跡碑があります。開山は、親鸞の弟子の善巧。太子堂に安置されているのは、聖徳太子木像(藤原時代の作)。武田信玄の身代わりになったという伝説がある。

### 11 法光山林昌院 慶宗寺

織田信長の家臣梅戸孫太郎宗貴の子、孫次右衛門高治の開基(元和6年1620)。寺伝によると、飯山城主となった松平遠江守が、菩提寺とした忠恩寺を改築するために、現在の地に移築しました。

### 15 青龍山安養院 妙専寺

新潟県高田でオーストリアのレルヒ少佐より明治45年(1912)一本杖スキーを習い、飯山地方に普及させたのが、この寺の第17世住職市川達謙である。以来、飯山は長野県スキーの発祥の地となった。城主堀丹後守直寄の母堂の墓もある。

### 19 松雲山 唯称院 西念寺

親鸞聖人の高弟二十四人の一人である常念坊の開山。飯山藩主松平氏に従って、遠州掛川から飯山に移った。裏山の墓地に、松平家の家臣の墓が多く見られる。この寺の山門の真正面が飯山城であった。

### 23 長峰山 英岩寺

初代飯山城主泉重信の菩提寺。飯山で最古の寺。謙信の直臣で「鬼」と呼ばれた、槍の名人小島弥太郎は、川中島合戦で深傷を負い、春日山城へ帰る足手まといになると自害して果てたという。その墓がある。

### 24 飯笠山神社

当地方最古の社といわれている。飯山城の守護神として歴代城主から手厚く尊敬された。当地方の総鎮守として広く尊敬されている。この社の附近は縄文時代の住居跡もあり、縄文、弥生時代の土器類が多数出土する。